

はっする



福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

学校麻しん対策強化研修会を開催しました！

～若狭地域からの麻しん根絶をめざして～

7月10日(木)に小中高校養護教諭・教育委員会・市町・若狭健康福祉センターの担当者が参加して、今年発生した学校生徒の麻しん(疑い)事例の対応を振り返り、課題を検討しました。そして、課題検討のグループワークで出た意見をもとに、いちせクリニックの一瀬 亨先生に講演をしていただきました。

<講演内容は…>

～テーマ～

😊 麻しん対策の現状と課題 😞



いちせクリニック
一瀬先生からのメッセージ

「たかが、はしか」
「はしかなんて、子どもの病気でしょ」
「はしかくらいでなぜ大騒ぎするのか？」
は、すでに過去の言葉です。

～ポイント～

☆ 麻しんは、怖い病気！

- ・発症すると死亡したり重症化するリスクを負うだけでなく、周りの人にうつしてしまう可能性がある病気。
- ・一人でたらずぐに対応をとらなければならない極めて感染力の強い病気。

☆ 麻しん対策は、ワクチン接種が大切！

- ・ワクチンで予防できる病気であり、麻しんワクチンは非常に安全なワクチンである。

☆ 平常時からの対策を！

- ・職員が感染源とならないよう、対策をとっておくこと。
- ・ワクチン定期接種対象者の接種率向上。
- ・関係機関で情報の迅速な共有を。

<グループワークでは…>

発生連絡を受けた
らまずは…
対策会議の準備も
しないと…



すごい！
迅速に対応
してるね～。

～グループワークから出た意見～

<平時の対応>

- 生徒、職員の麻しん罹患歴およびワクチン接種歴の確実な把握が大切！（母子手帳での確認が望ましい）
- MR ワクチン定期接種対象者への接種勧奨。（接種率95%以上を目指そう！！）
- （濃厚）接触者の定義をはっきりしておくことが必要。

<情報の伝達および関係機関との連携>

- 麻しん患者が発生したらすぐに情報がほしい。正しい情報がないと噂が広まり、混乱のもととなる。
- 近隣地域での麻しん流行状況について情報がほしい。
- 麻しんは、5類感染症であり、発生届には氏名や住所の記載はない。個人情報保護と情報共有の両方を考慮し、どこまでの情報をどの機関で共有できるか、検討が必要。

<感染拡大防止対策>

- 保護者、関係機関で麻しんに対する危機感や認識にズレがあり、対応が難しい。
- 接触者へのワクチン任意接種の考え方がいろいろあり、保護者への対応が難しい。

若狭健康福祉センターでは
麻しん発生時に「はっする」臨時
号を出して情報を発信して
いきます！！



○お知らせ○

～インターフェロン治療にかかる医療費助成について～
平成20年4月以降、若狭管内では6人の申請がありました。まだ、この制度についてご存知でない方がおられると思いますので、問い合わせ等がありましたら、制度の紹介をよろしくお願いします。

福井県感染症発生動向調査速報

6月(23週6/2～26週6/29)

2類 結核 5名
3類 腸管出血性大腸菌感染症 2名
5類 麻しん 9名
(再掲：若狭管内 麻しん 5名)

○編集後記○

「はっする」は、毎月第2水曜日発行ですが、
今回は麻しん研修会の内容を発信したかったの
で、少し発送がおくれました。ご了承ください！

発信者 若狭健康福祉センター

担当 健康増進課 新谷・片山

TEL：0770-52-1300 FAX：0770-52-1058

MAIL：w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

☆ご意見、ご感想おまちしています。